

5限で実施されたキャリア開発演習Ⅱ（4単位）の授業において、見学者としての立場での感想を述べたいと思います。

まず、担当された狩野先生が「地方分権の推進についてどう考えますか?」「行政に求められるものは何だと思えますか?」というテーマを取り上げて面接対策の講義を行われました。

行政の担い手になる人間として、非常に重要なテーマであり、かつ、確固とした考え方が要求されるテーマでもあります。

現在でも様々な議論がある中で、どこにポイントを絞って論じるべきか、という部分について、論文試験対策で使用した教材も使って、ご担当の狩野先生がわかりやすく丁寧に解説されていました。また、特に重要なポイントについて中島総長先生からも、線を引いてしっかり暗記するようご指示があり、最初のうちは学生も苦戦しているようでしたが、指導が進むうちに、学生の理解が深まる場面が多く見られました。

Zoomでの指導でも慣れた様子で講義を行われ、テキストに書かれていることを学生が自分なりにまとめ、発表をさせ、表現がおかしい部分などを改善させながら、少しずつ自分の意見をまとめることができるようになっていき、最後にはしっかりとした一通りの意見を発表することができるようになっていたので、学生も自分の成長を実感できたよい機会になったと感じました。

特に行政に求められるもの、というテーマについては、自身の職業観を見つめなおす非常によいきっかけになったかと思います。批判されることも多い職業ではありますが、その分、やりがいを感じて一人でも多くの学生が公務員を目指し、目標を達成できるようサポートしていきたいです。

4年生の春期の授業は今週で終了しますが、公務員試験は今後も続いて行われます。7月には新たに論文試験・面接試験対策講座が行われますが、中島総長先生からご指導賜りながら、学生を合格されるための指導を実践していきたいと思います。